

景観ってなあに？

vol.2

▶街づくり推進課 ☎23局3523

●「景観を読む！」

前回、景観とは何かを題材としましたが、今回は、景観を読むコツについて考えましょう。景観を読むというと、なんだか難しいと思ってしまいますが、そんなに難しくありません。最初はただ「きれいだな」と思っているだけだった景観が、コツをつかむといろいろなことに気づくようになります。



今回は、その練習をしてみましょう。次の写真は、田原市博物館の前の街並みの様子を撮った写真です。

- どんなものが見えますか、じっくりまわりを眺めてみましょう。
- 自分が住んでいる地域の景観と何が違いますか。
- 写真の中に素敵なものはありますか。

城下町の雰囲気にあわせ、道路が石畳になっていますね。民俗資料館の前の塀も城下町の佇まいを表現した



▲田原市博物館前の街並み

整備になっていませんか。また、左側の家の塀も、地域の歴史や雰囲気にあわせたものになっていることを見つけることができます。今まではただの街並み写真だったものが、少し景観の目でみることによって、このようなことに気づくことができます。皆さんが住んでいる地域の景観を読んでみましょう。きっと何か気づくことがあると思います。



ガイドダンスに従って録音や再生を

●使い方

◆設置場所

声の伝言板の役割を果たします。

◆「171」とは

震度6弱以上の地震発生時など、被災地への安否確認電話が集中する場合、N-TTでは、「災害用伝言ダイヤル」サービスを開始します。このサービスは、家族や親戚などの安否を確認したい時、声の伝言板の役割を果たします。

こんにちは、しろちゃんです。地震などの災害は、いつ起きるかわからないので、学校や勤務先、自宅など家族が別々の場所に居る時に地震が発生すると、バラバラになってしまう可能性があります。電話で連絡を取ろうとしても、つながりにくい状況になってしまう場合もあります。今回は、そういった場面で役に立つ災害用伝言ダイヤル「171」について紹介します。

しろちゃん

防災知恵袋

5

災害発生時における家族の安否確認

みんなで取り組む防災・減災

行います。

※災害用伝言ダイヤルには、「被災地内の電話番号」しか登録できません。また、被災地内から利用する場合も「市外局番」からダイヤルする必要があります。

◆「災害用伝言ダイヤル」が体験できます

●毎月1日と15日

●正月三が日

●防災週間【8月30日午前9時～9月5日午後5時】

●防災とボランティア週間【1月15日午前9時～21日午後5時】

◆災害に備えて

平常時から災害に備えて、「171」の利用を含めたお互いの安否確認の方法、勤務先や学校からどのようにして自宅に戻るのか、家族が落ち合う場所をどこにするのかなどの具体的な対策を家族で話し合っておきましょう。

▼防災対策課 ☎23局3548

